



化学品管理の自主的取り組み “GPS/JIPS”

Global Product Strategy
Japan Initiative of Product Stewardship

2017. 8. 31

一社) 日本化学工業協会



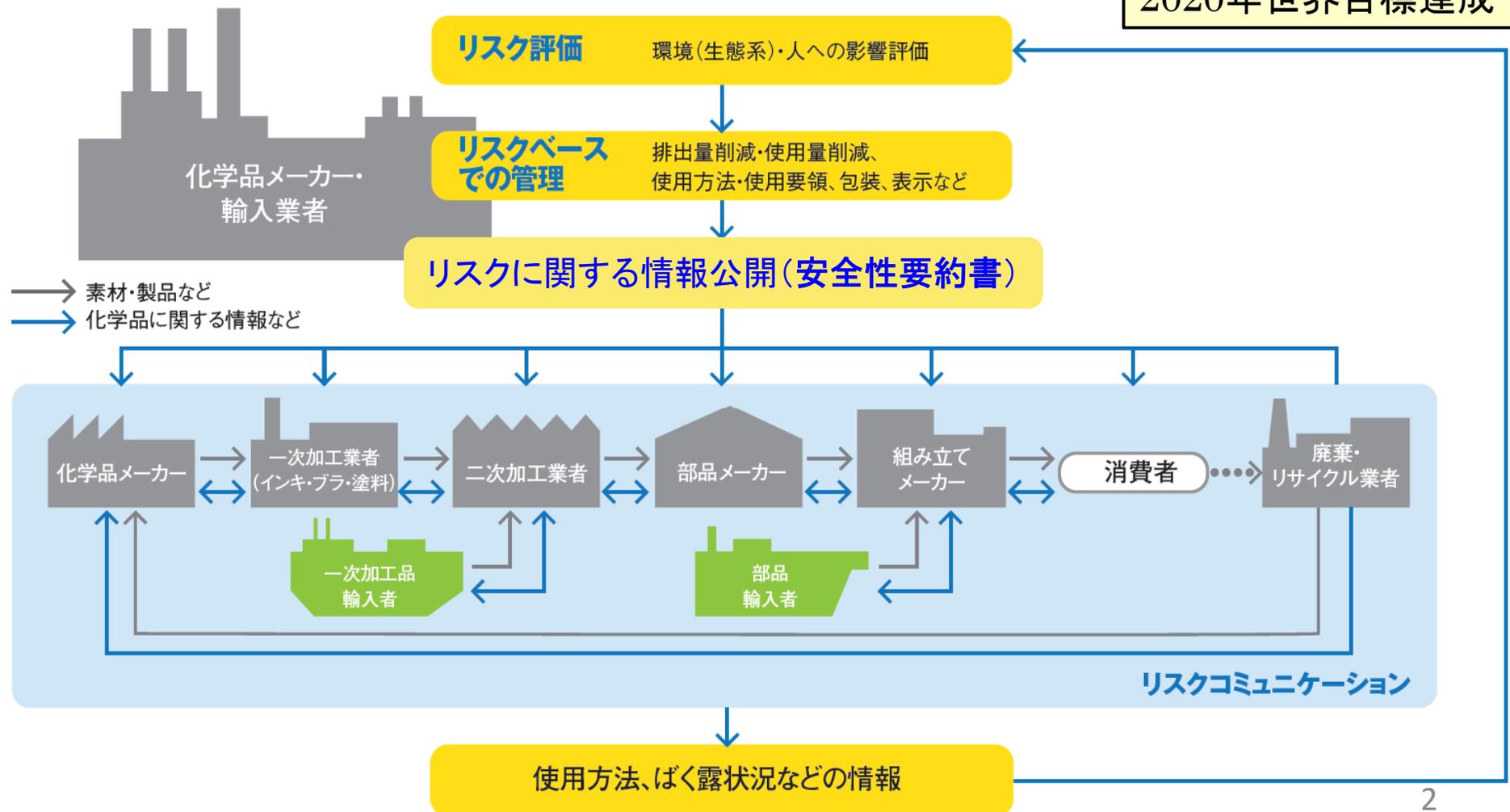
GPS/JIPSの目的・内容

GPS/JIPSとは

化学品のリスクに関する情報を**安全性要約書**で**一般公開**し、その情報に基づいた管理によって**サプライチェーン全体**で化学品によるリスクを最小化しようとする自主活動

GPS/JIPS: Global Product Strategy / Japan Initiative of Product Stewardship

2020年世界目標達成



活動内容：安全性要約書のドラフトの公開

労働安全衛生法特設ページ

BIGDr トップページ サイトの使い方 サイトマップ	有害性情報DBポータル 国内外法規制情報 リンク集 資料集	リスクアセスメント実践 リスクアセスメントツール 作業者リスクアセスメント 混合物リスクアセスメント	ICCA掲載安全性要約書 GPS/JIPSコンソーシアムと 安全性要約書のドラフト GPS/JIPS	ケミマガアーカイブス
-----------------------------------	--	---	---	------------

■ GPS/JIPSコンソーシアムと安全性要約書のドラフト

下表の安全性要約書のドラフトは日化協が推進するGPS/JIPS活動の一環としてGPS/JIPSコンソーシアムが作成したものです。

『GPS/JIPSコンソーシアム』とは、化学物質のリスク評価および安全性要約書作成に係る共通課題を協働で解決することを目的として、対象の化学物質ごとに日化協の会員企業有志で構成されたグループです。本コンソーシアムでは、協働でリスク評価を進め、最終的なアウトプットとして安全性要約書のドラフトを作成しています。

下表の安全性要約書のドラフト作成段階の化学物質に関するコンソーシアムに参加されたい会員の皆様、また新たにコンソーシアムを結成して検討したい化学物質がございましたら、事務局までご連絡ください。

安全性要約書のドラフトは、Word形式で作成しております。物質名称をクリックするとドラフトを取り出せます。

なお、安全性要約書は、最終的には個社の責任で公開するものであり、最大公約数的な範囲になっています。この点をご理解頂き、貴社の安全対策に活用してください。

お問い合わせ先：BIGDrヘルプデスク経由(BIGDrの[お問い合わせ](#)ページ)

クリックすると安全性要約書のドラフト (Word文書) を取り出せ、これをもとに簡単に安全性要約書が作成できる。是非ご活用を!!

ご活用ください。記載は

CAS番号	物質名称	GPS/JIPSコンソーシアム参加企業	安全性要約書のドラフト作成の進捗
1310-73-2	苛性ソーダ	(株)トクヤマ、電気化学工業(株)、東亜合成(株)、日本曹達(株)、(株)カネカ、(株)ADEKA、(株)クレハ	済(2015年7月) 2016年02月16日改訂
7647-01-0	塩酸	(株)トクヤマ、電気化学工業(株)、東亜合成(株)、日本曹達(株)、(株)カネカ、(株)ADEKA、(株)クレハ	済(2015年7月) 2016年02月16日改訂
7782-50-5	塩素	(株)トクヤマ、電気化学工業(株)、東亜合成(株)、日本曹達(株)、(株)カネカ、(株)ADEKA、(株)クレハ	済(2016年5月)

・安全性要約書作成例

この安全性要約書は、ICCA の GPS に則って本物質の安全な取り扱いに関する一般的な情報を提供することを意図したものです。この要約書に記載されている情報は基本的な情報であり、緊急時の対応や医療又は治療処置に関する情報を提供するものではありません。本物質について網羅的に安全、健康に関する情報をお知りになりたい場合は、弊社発行の安全データシート(SDS)も合わせてご参照ください。

物質名 (SUBSTANCE NAME)

塩酸(35%)

(Hydrochloric acid, CAS No. 7647-01-0: 塩化水素)

物質の概要 (GENERAL STATEMENT)

塩酸は塩化水素の水溶液で、日本では劇物に指定されています(10%以下を除く)。標準的な水溶液濃度は30重量%程度ですが、それ以上それ以下の濃度のもも入手可能であり、強い酸性(低 pH)を有することから、腐食性の強い製品です。金属腐食性があることから、適切な容器への保管が必要です。

飲み込むと有害及び吸入すると有害で、人体に付着すると重篤な皮膚の薬傷、眼の損傷をもたらします。取り扱い時は、換気又は局所排気、保護眼鏡、保護手袋等の保護具の着用が強く推奨されます。環境への放出を防ぐため、工場の排水処理設備においては、pH の定期的な監視とメンテナンスを推奨します。

塩酸は食塩水の電気分解で得られる塩素と水素を反応させて製造するのが主ですが、種々の有機又は無機反応の副生成物としても単離されます。胃酸の主成分として天然にも産し、人の胃の中の pH を 1~2 に保っています。塩酸は多岐にわたる工業分野で種々の用途で使用されます。

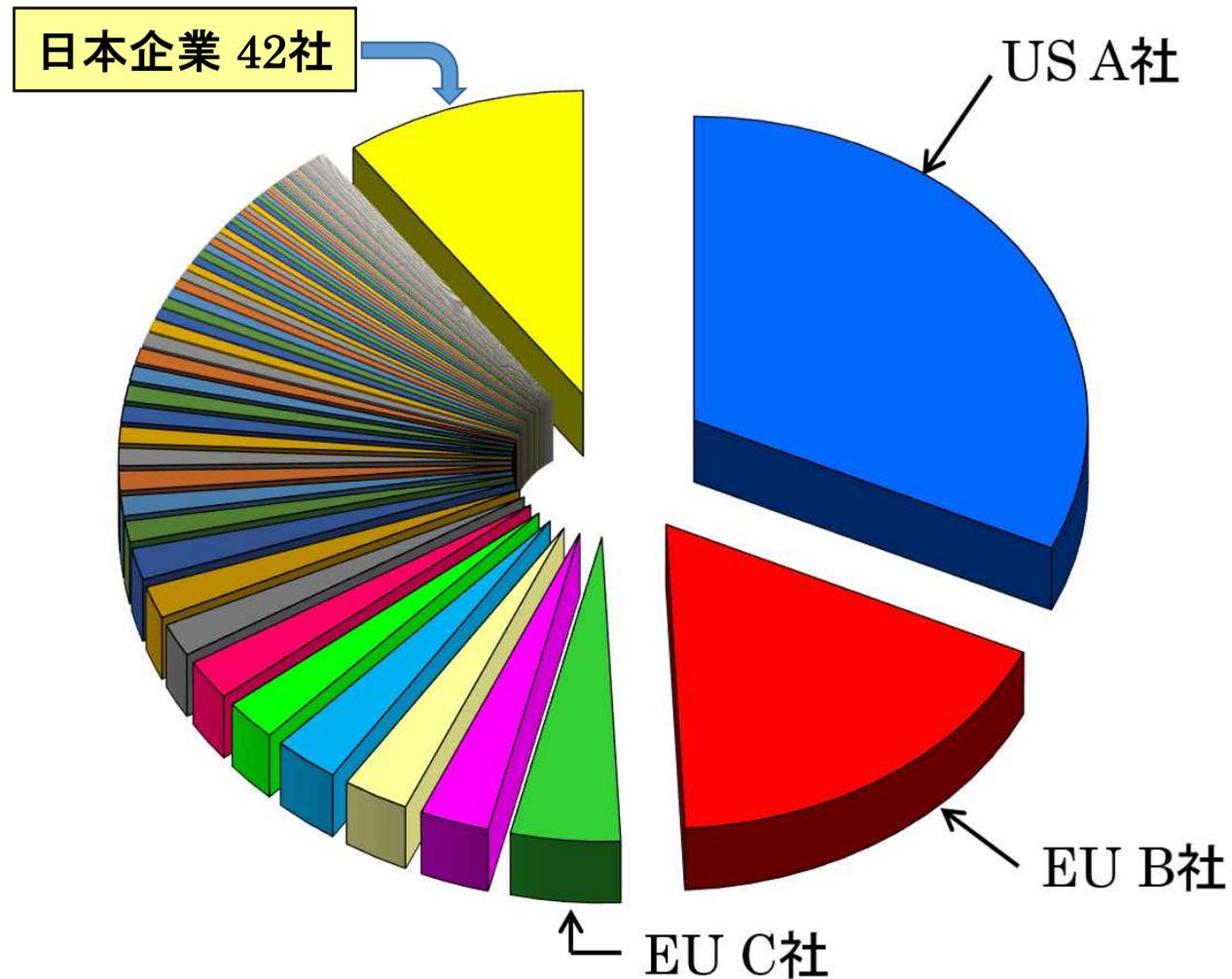
化学的特性 (CHEMICAL IDENTITY)

項目	内容
一般名	塩酸(塩化水素水溶液)
商品名	塩酸
化学名	塩化水素 Hydrochloric acid
CAS 番号	7647-01-0 (塩化水素)
その他の番号	官報公示整理番号(化審法、安衛法) (1)-215 EC 番号 231-595-7
分子式	HCl
構造式	H-Cl
その他の情報	
出典、備考	日本ソーダ工業会 SDS(製品安全データシート集 No.04) NITE 化学物質総合情報提供システム CHRIP

GPS/JIPSの現状と課題

世界の安全性要約書アップロード状況(2017/07)

日本／全世界 = 483件／約4,800件 ⇒ 約10%



活動内容：安衛法対応のリスク評価実務支援

安衛法改正(2016年6月施行)⇒ 一定の化学物質に関し作業者のリスク評価が
義務化



GPS/JIPSの一環として、安衛法に対応したリスク評価を
円滑に進められるよう、作業者のリスク評価実務を支援
⇒ JCIA BIGDrの整備、セミナーによる普及



< JCIA BIGDrのウェブページ >

化学物質リスク評価支援ポータルサイト
JCIA BIGDr

🏠 トップページに戻る ✉ お問い合わせ [English]

労働安全衛生法特設ページ

BIGDr トップページ サイトの使い方 サイトマップ	有害性情報DBポータル 国内外法規制情報 リンク集 資料集	リスクアセスメント実践 リスクアセスメントツール	ICCA掲載安全性要約書 GPS/JIPSコンソーシアムと 安全性要約書のドラフト GPS/JIPS	クミマガアマガイブス
-----------------------------------	--	-----------------------------	---	------------

- JCIA BIGDr Ver3.2

JCIA BIGDrについて

JCIA BIGDr(ビッグドクター)は一般社団法人日本化学工業協会が提供する「化学物質リスク評価支援ポータルサイト」です。
ヘッダーメニューあるいは全体イメージ図内の項目をクリックすると、それぞれのコンテンツにジャンプします。
本サイトの使い方は[コチラ](#)をご覧ください。

- ・JCIA：Japan Chemical Industry Association (一般社団法人 日本化学工業協会)
- ・BIGDr：The Base of Information Gathering, sharing & Dissemination for risk management of chemical products

☆☆☆ 改正安衛法対応リスクアセスメントセミナー 第1-4回の会告PDFファイルを公開しました。
詳細は[コチラ](#)をご覧ください。

一部のコンテンツは登録ユーザーのみに公開しております。各ページのID/PWボックスでID/PWを入力の上ご利用ください。
ユーザー登録申請については、[コチラ](#)をご覧ください。

改正安衛法対応リスクアセスメントセミナー

日化協会員以外の方も対象として、昨年度全国11箇所で開催、500人以上の参加者(非会員比率が70%)

・BIGDr.Workerの基本的な考え方

<ばく露量の計算>

- ・作業者安全に特化
- ・推算には、実績あるECETOC TRA Tool を使用

■ 混合物のリスクアセスメント

[STEP1] リスクアセスメントのタイトル等を入力

タイトル
混合物（製品）名称

[STEP2] リード物質選定機能利用の検討
成分物質の有害性詳細値が得られない場合にはリード物質選定機能のご利用

[STEP3] 物質の情報を入力
※は必須項目です。 ※単一物質のリスクアセスメント

No.	表示更新		物質名称 ※	CAS番号	含有率 ※ %
	選択	更新			
1	<input type="checkbox"/>				
2	<input type="checkbox"/>				
3	<input type="checkbox"/>				
4	<input type="checkbox"/>				
5	<input type="checkbox"/>				

[STEP4] ばく露シナリオの入力

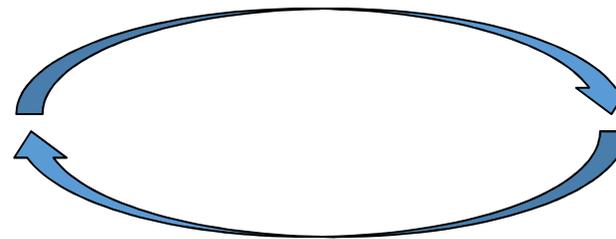
作業内容	
プロセスカテゴリ(PROC)※必須	
作業形態※必須	
作業時間 [時間/日]※必須	
換気条件※必須	
呼吸保護具の有無と効率※必須	
保護手袋の有無と効率※必須	
経皮ばく露を考慮したLEV（最新排気装置）の設置	

[STEP5] TRAの実行

TRAの実行

簡単な操作

① ECETOC TRA Tool



作業者リスク評価結果を出力

② 評価結果の帳票出力機能

ECETOC TRA Tool

(10のファイル群から構成。
使いこなすのが難しい)

リスクアセスメントの結果

タイトル

混合物の情報等

混合物名

ばく露シナリオ

評価結果

評価結果の帳票

項目	内容
作業工程(プロセス)カテゴリ	PROC: 原料や製品製造のためのプロセスの混合/混合
作業形態	ばく露シナリオ
作業時間 [時間/日]	10時間
換気条件	良好
呼吸保護具の有無と効率	なし/呼吸器なし
保護手袋の有無と効率	なし/手袋なし
経皮ばく露を考慮したLEV (最新排気装置)	考慮なし

実行したリスク評価項目や評価方法の変更など
RA実施者が入力する

作業場での周知

・リスク評価計算結果の表示

【STEP5】 TRAの実行

TRAの実行

【結果】 TRA実行結果 (リスク判定比)

結果帳票を出力

混合物のリスク判定比 (RCR)				
長期吸入 (8h平均) ①	経皮 ②	合計 (①+②)	吸入-短期(15 分平均)	局所経皮
0.05996	0.13166	0.19162	0.11992	-

物質のリスク判定比 (RCR)						
物質No.	物質名	長期吸入 (8h平均) ①	経皮 ②	合計 (①+②)	吸入-短期(15 分平均)	局所経皮
1	トルエン	0.05996	0.13166	0.19162	0.11992	No Local Dermal



1未満を確認

$$\text{リスク判定比 (RCR)} = \frac{\text{ばく露濃度}}{\text{許容濃度}}$$

RCR < 1 : リスクは管理されている
RCR ≥ 1 : リスクが高い